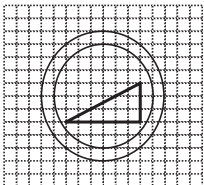
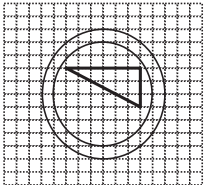


3 問1

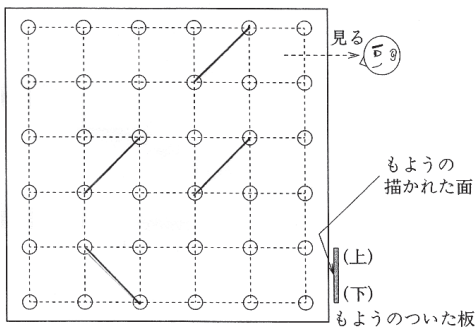


問3



問2 板の上のもようがそのまま同じに見える。

問4



<適性検査2解説>

1 放送問題のため省略

2 (算数, その他: 単位量の計算, 家庭・図工)

問1 資料1のBMIの計算式にもとづいて計算する。身長がmなので、注意する。

問2(1) 資料2にもとづいて分類する。マーガリンやサラダ油、さとうの分類に注意する。記入し終わった食品は、チェックを入れたりえん筆で消していくとダブって書くことを防げる。

(2) (1)の表を見て、不足しているもの、とり過ぎのものについて着目し、増やすべき食品、減らすべき食品を考える。

問3 資料4より、お父さんは42歳なので、体重1kgあたりの1日の基礎代謝基準値は、22.3kcalである。この数字と条件をもとにして1日の基礎代謝量、そして1日に必要なエネルギー量を求めていく。

問4 資料7より、1人分の材料の重さを求め、資料8より、1人分の材料の重さあたりにふくまれるエネルギー量を求めていく。計算式は、縦に順序よく並べて書くことに注意する。また、最後に全体のエネルギー量を計算するとき、位をそろえて正確に計算すること。

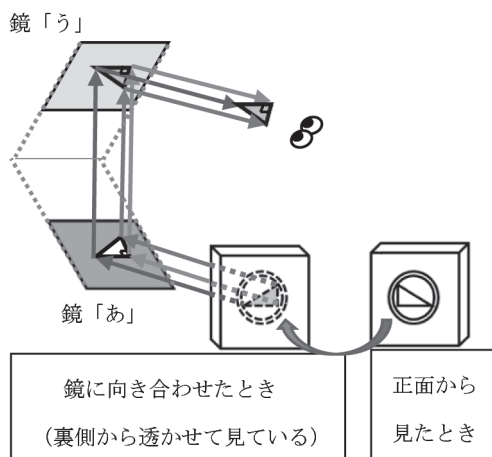
問5 まず、夕食の標準的な量、食事のエネルギー量を計算する。主食の標準的な量は、1~2SV、副菜は、1~2SV、主菜は、2~3SVにおさまるように、エネルギー量は、朝食が840kcal、昼食が690kcalなので、夕食は、670~770kcalにおさまるように献立を考えればよい。2とおりの主食は、異なるものを選ぶことに注意する。

やや難 **3** (理科: 光の反射)

問1 鏡の中に映ったもよりの像は、板についたもようとは左右が逆になっている。したがって、三角形の向きを左右逆にしたもようを書くときよい。

問2 問1のように、平行に置いた鏡同士では映る像は左右逆転になる。鏡「あ」にはもとのもようと左右逆転した像が映り、次に鏡「い」によって、さらに左右逆転するため、視界に入る像はもとに戻っている。

問3 鏡を直角に置いた場合、2枚の鏡の辺を延長してぶつかる場所を対称の軸として像は対称移動をする。よって、図のように、鏡「あ」で左右逆転、鏡「う」で上下逆転するため、見える像は左右上下が逆になる。問題の冒頭に「鏡の前の人と鏡に映った像とは、左右が逆になっている」とある。つまり、像の見え方が逆転しているということは左右が逆にはなっていないということになる。



問4 問2から「鏡を平行に置く→逆にならない」、問3から「鏡を垂直に置く→逆になる」ということがわかる。つまり4枚の鏡の置き方のうち上下を逆転させるために垂直な置き方を1回使い、それ以外は平行に置けば「上下は逆、左右は逆にならない」置き方となる。



★ワンポイントアドバイス★

大問3つで構成されている。①の聞き取り問題は例年通り。②、③の算数、理科の問題は、基礎力が十分あれば解ける問題だが、問題数が多いので、スピードと正確さが求められる。過去問を解くような時期になったら、時間を決めて取り組むことが重要になる。

<適性検査3解答例> 《学校からの正答の発表はありません。》

- ① 問1(あ) 小さく (い) 小さく
 問2(1) 1.6 倍 (2)(あ) 80
 (3)(い) 高い (う) 成長している (え) 低い (お) 成長していない
 問3(あ) 減る (い) 減る (う) 買ってもらえなくなる(売れなくなる)
 問4(1) 所得水準に合わせ、小分けにして売る。
 (2) 自分たちがいいと思うものを持ち込み過ぎないように気をつけること。

- ② 問1 2 時間 7 分長くなる
 問2

- 問3 2 月 2 日 午後 10 時 30 分
 問4 都市 福岡 理由 最も西にある都市だから。

- ③ 問1 $1\frac{1}{3}$ 秒間
 問2(1) $9:6 = (\text{あ}) : 17$ $2 \times (\text{あ}) = 3 \times 17$ $(\text{あ}) = 25.5$ 答え 分速 25.5 m